使っている花 ● リューカデンドロン(サファリサンセット)、プロテア(ロビン)、ダリア(ハミルトンジュニア)、ユーカリ(フィシフォリア)、オモチャカボチャ

Weekend Flower
10月

WEEKEND FLOWER

リューカデンドロン

花言葉	物言わぬ恋／閉じた心を開いて

雄々しいフォルムとシックな銅色
人気再燃のネイティブフラワー

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花に見える部分は「苞葉」で、霧吹きで湿度を保ってあげると長く楽しめます。
- 水が汚れると葉が黒くなりやすいので、切り花栄養剤を使うと良いでしょう。

お家で簡単！ 3ステップアレンジ

①花材それぞれの水に浸かる部分の葉を取り除きます。
②リューカデンドロンを長いまま楽しむ場合は、数本のリューカデンドロンだけ、もしくは同じネイティブフラワーのプロテアと合わせて、シンプルに活けるとフォルムのカッコよさが際立ちます。
③短く楽しむ際には、オレンジ系や赤系の花々と合わせるとまとまりやすいでしょう。花弁の質感の違うダリアやバラなどとも、案外相性が良いです♪

男前インテリアに似合うフォルム

南アフリカ、オーストラリア、イスラエルなどから輸入され、晩秋が最盛期。男っぽいインダストリアルなインテリアの流行や、ドライフラワーのリバイバルで、実のように見える新しいタイプなど続々と紹介されています。不思議な名前の由来は、ギリシャ語のリューカ(白い)とデンドロン(樹木)から。大きいものは10mにもなるそう！

Leucadendron